会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和4年度職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業  （３）職業実践専門課程等の充実に向けた取組の推進①社会的評価の一層の向上のための共通的基盤整備の推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第3回共通基盤整備事業実施委員会 |
| 開催日時 | 令和4年10月18日（火）　15時00分～17時00分 |
| 場所 | オンライン |
| 出席者 | 事業責任者：高岡　信吾  委　　　員：五十部　昌克、岡村　慎一、谷　昌一、山根　大助、  増子　卓矢、松田　義弘、川越　浩  　　　　　計8名  請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　　計1名  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計9名 |
| 議題等 | (1)自己点検・評価【共通的評価基準モデル2022】普及セミナー  （五十部）  ・自己点検・評価普及セミナーは無事終了することができた。研修終了後のアンケート調査もSlackに貼りましたのでご確認をお願いします。  令和4年9月30日(金)福岡会場 参加33名  　令和4年10月7日（金）オンライン配信 参加75名  　令和4年10月14日(金)東京会場　参加31名  ・本年度実施した3会場に関しては、3会場ともに定員を超え会場に入れないといった状況もありました。アンケート結果をみても点検評価のエビデンスに関しては、インパクトが大きかったと推測している。もしも予算に余裕があるとすればもう少し回数を増やすことも検討したい。  ・回数を増やすとすればどこでどのように行うのか。（高岡）  ・事業進行や予算執行の現状を加味して、早めに着地を計算し、Slackにて報告する。計算する際は、大阪、名古屋、オンラインの今回と同じセミナーを実施した場合にどのような予算が必要か計算する。（飯塚）  （２）及び（３）第三者評価認証簡略化モデル及び組織運営ガイドラインの開発／検証（五十部）  ・簡略化モデル完成版及び運営ガイドラインの検証は、前回お話しした私立専門学校等評価研究機構とJAMOTECに審査を依頼したと思います。  ・受審校に関しては、アンケート集計結果の中から、第三者簡略化モデルの受審を積極的に捉えている学校に対して打診し、受信先を特定していきたいと思います。  ・具体的に受審を希望する学校はあるのか？（高岡）  ・アンケート上では数校あると思う。地方のどちらかというと小さめの学校が多い。（五十部）  ・当校も受審させたい。（山根）  ・委員会の委員の中でも審査員経験者が数人いると思うが、1か所につき1名程度は委員が審査員として加わると開発に役立つと思う。（岡村）  ・委員の中で、受審校はわかりますので、個別に連絡させていただきます。（五十部）  ・当校から審査員も出したい。（岡村）  (4)内部質保証人材育成プログラムの検証及び開発  ・手元に配布している内部質保証人材育成プログラム案内を本日確定したいと思います。（五十部）  ・このプログラムは、学校側で内部質保証を行う者を育成する意味で大変重要な研修となります。これに加えて、各地方で実施するためには、この研修プログラムを講師として担当できる者の育成も念頭に入れておくべきだと思います。（岡村）  ・受講料は無料ということですが、資料代として20,000円近くの費用が掛かります。ただ人材として必要だと思いますので投稿は積極的に参加を考えています。また、福岡開催ということもあり投稿は参加しやすい環境ですが、他校の事を考えると全てオンライン化するなども考える余地がありそうです。（川越）  ・地方の参加者を増やすためにはセミナーをオンライン化することは重要ですね。（谷）  ・案内を送るのが急すぎませんか（松田）  ・開催日程が迫っているので、この内容で実施してみましょう。（五十部）  ・本件の案内文のお届け先は、全専研および福岡県専各からメーリングを利用した告知となります。研修の開始時期が11月15日ということもあり早めに対応していきたいと思います。（飯塚） |
| 配布資料 | ・第3回共通基盤整備事業実施委員会  ・自己点検・評価セミナー受講者名簿  ・自己点検・評価セミナーアンケート集計  ・第三者評価簡略化モデル検証用シート  ・内部質保証人材育成プログラム案 |

以上